

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公開番号】特開2002-144721(P2002-144721A)

【公開日】平成14年5月22日(2002.5.22)

【出願番号】特願2001-256134(P2001-256134)

【国際特許分類】

B 4 1 M	5/00	(2006.01)
B 4 1 M	5/50	(2006.01)
B 4 1 M	5/52	(2006.01)
B 4 1 J	2/01	(2006.01)

【F I】

B 4 1 M	5/00	B
B 4 1 J	3/04	1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月1日(2008.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

インクジェット受容コーティングの設けられた被覆印刷媒体の耐光性を改善する方法であって：

(a) 前記インクジェット受容コーティングを含む少なくとも1つのコーティングを光開始剤を含むように調合すること；及び

(b) 前記印刷媒体を前記少なくとも1つのコーティングで被覆することを包含し、

前記被覆された印刷媒体が、少なくとも1つのインクジェットインクをその上に受容するように適応されており、

前記光開始剤が、本質的に、、 -ジメチル - ヒドロキシアセトフェノンから成り、且つ少なくとも前記インクジェット受容コーティングが、0.001～0.01重量%の前記光開始剤を含有するように調合されている、方法。

【請求項2】

少なくとも前記インクジェット受容コーティングが、約0.005重量%の前記光開始剤を含有するよう調合される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

用紙上の少なくとも前記インクジェット受容コーティングが、乾燥されると、乾燥以前の前記コーティングの最初の固形分含量12重量%に対して、約0.008～0.08重量%の範囲の濃度で前記光開始剤を含有する、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記濃度が、約0.042重量%である、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記印刷媒体が、光沢印刷媒体、微孔性印刷媒体、及びマットコート印刷媒体から成る群から選択される、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記印刷媒体が、本質的に、ポリエチレンフィルムがその上に溶融押出しされた紙基材

を含む光沢印刷媒体から成る、請求項 5 に記載の方法。

**【請求項 7】**

光開始剤を含有するインクジェット受容コーティングを含む少なくとも 1 つのコーティングをその上に有する請求項 1 に記載の印刷媒体であって、それにより、印刷されると、前記光開始剤を含まない少なくとも 1 つのコーティングが設けられた印刷媒体よりも高い耐光性を示し、

前記光開始剤が、本質的に、 , -ジメチル - - ヒドロキシアセトフェノンから成り、且つ少なくとも前記インクジェット受容コーティングが、 0.001 ~ 0.01 重量 % の前記光開始剤を含有するように調合されている、請求項 1 に記載の印刷媒体。